

いのまき 議会だより

No. 43

平成27年5月26日発行

平成27年度予算可決	1
各常任委員会審査	6
施政方針に対する質疑	8
18人が一般質問で市政を問う	11



議場見学 :北村保育所(ぞう組)



1

平成27年度予算 可決

「くらし再生美感予算」「未来に希望」

前年比25・9%増

当初予算 総額3,895億3千万円

「震災復興基本計画」に掲げる「再生期」の2年目として市民がこれまで以上に復興を実感し、未来に希望を持てる石巻市を目指す。

平成27年度当初予算は、一般会計の総額が、2,557億7千万円で、前年度当初予算に比べ290億円、12・8%増となり、各種特別会計を含む総額は対前年度比25・9%増の3,895億3千万円となった。

歳出

3・3%減、市債は167億2千万円で対前年度比16・4%増となった。

投資的経費は、石巻漁港荷捌き所整備事業や災害復旧事業の漁港施設災害復旧、水産加工団地共同排水処理施設災害復旧が減少になるものの、復興公営住宅整備事業、学校給食センター建設事業、(仮称)石巻東消防署建設事業のほか、寿楽荘移転新築事業、庁舎駐車場整備事業、小学校及び幼稚園の老朽化対策事業などが増となったため、1,314億4千万円、対前年度比1・4%増となった。

歳入

市税は対前年度比9・4%増の162億4千万円となった。個人市民税、法人市民税、固定資産税すべてにおいて増となった。地方交付税は、475億7千万円で対前年度比5・9%増、国庫支出金は203億円で対前年度比36・2%減、県支出金は96億9千万円で対前年度比

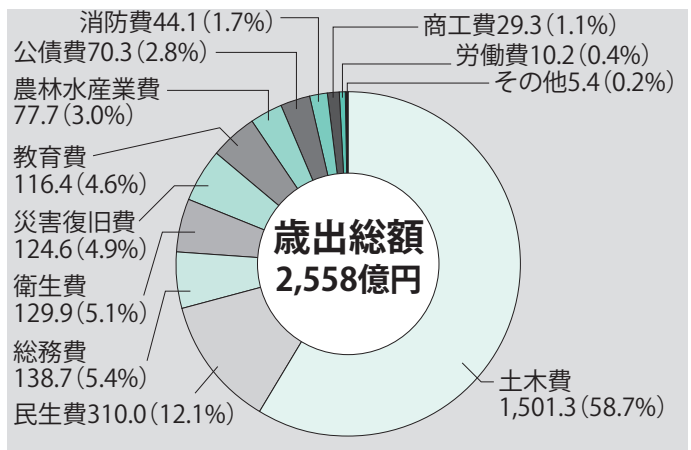
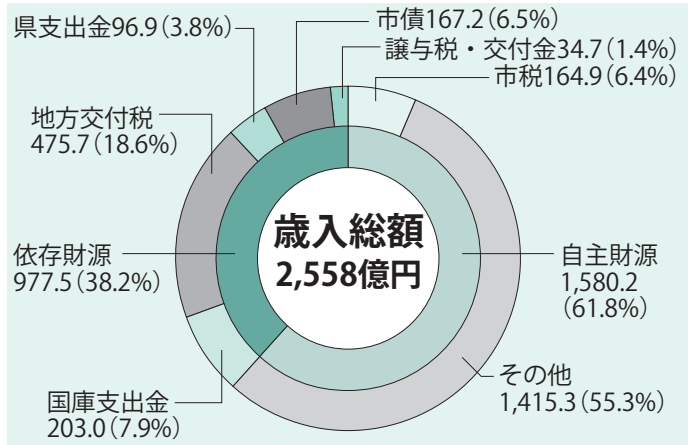


2,557億7千万円の使いみち



◀ 予算審議を語る
安倍太郎議長

単位：億円



■平成27年度各種会計予算のあらまし

	予算額 (千円)	前年度比 (%)
一般会計	255,770,000	12.8
復旧復興分	195,595,285	17.5
通常分	60,174,715	▲0.2
特別会計	120,998,944	50.8
内		
土地取得	2,792,437	825.3
水産物地方卸売市場事業	493,132	166.9
下水道事業	58,688,127	126.1
漁業集落排水事業	25,642	▲16.9
農業集落排水事業	498,057	▲5.8
浄化槽整備事業	186,955	96.0
市街地開発事業	18,993,861	16.8
産業用地整備事業	1,930,485	▲5.4
国民健康保険事業	23,087,829	9.8
後期高齢者医療	1,690,062	▲0.8
介護保険事業	12,612,357	4.4
駐車場事業	0	皆減
病院事業会計	12,764,872	429.5
合 計	389,533,816	25.9

■平成27年度当初予算の主な事業

災害派遣職員関係費	34億9660万円
自立支援給付費	25億4749万円
児童手当費(扶助費)	22億2577万円
生活保護各種扶助費	24億1111万円
被災者住宅再建補助事業費	81億3643万円
病院事業運営費(東日本大震災関係分)	36億6413万円
石巻漁港荷捌き所施設整備事業費	24億5167万円
(仮称)水産総合振興センター整備事業費	15億7020万円
石巻工業港運河線街路整備事業費	10億3470万円
(仮称)鎮守大橋整備事業費	13億円
復興公営住宅整備事業費	528億5092万円
防災集団移転促進事業費	409億7141万円
蛇田小学校屋内運動場改築事業費	10億6380万円
学校給食センター建設事業費	11億1715万円

第1回定例会に提出された 議案と審議結果

平成27年第1回定例会は、2月23日から3月25日までの31日間にわたり開催され、市長の施政方針演説とこれに対する各会派の代表質疑が行われたほか、平成27年度各種会計当初予算をはじめ、条例、平成26年度各種会計補正予算、人事案件などの市長提出議案117件及び議会提出議案1件が提出されました。審議の結果、すべて原案のとおり可決されました。

条 例 (原案可決)

- ・石巻市被災市街地復興土地区画整理事業清算金基金条例
- ・石巻市営住宅管理運営基金条例
- ・石巻市教育委員会教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例
- ・石巻市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例
- ・石巻市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る人員等に関する基準を定める条例
- ・石巻市津波避難タワー設置条例
- ・石巻市防犯カメラの設置及び運用に関する条例
- ・石巻市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例
- ・石巻市農業委員会委員の選挙区及び定数に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市情報公開条例の一部を改正する条例
- ・石巻市行政手続条例の一部を改正する条例
- ・石巻市市税条例の一部を改正する条例
- ・石巻市手数料条例の一部を改正する条例
- ・石巻市公共物管理条例の一部を改正する条例
- ・石巻市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市立学校等の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例
- ・石巻市老人憩の家条例の一部を改正する条例
- ・石巻市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例
- ・石巻市在宅介護支援センター条例の一部を改正する条例
- ・石巻市介護保険条例の一部を改正する条例
- ・石巻市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正す

る条例

- ・石巻市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ・石巻市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ・石巻市有機センター条例の一部を改正する条例
- ・石巻市道の駅「上品の郷」条例の一部を改正する条例
- ・石巻市都市公園条例の一部を改正する条例
- ・石巻市被災市街地復興土地区画整理事業施行に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市道路占用料条例の一部を改正する条例
- ・石巻市建築基準等に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市特別用途地区建築条例の一部を改正する条例
- ・石巻市営住宅条例の一部を改正する条例
- ・石巻市消防団条例の一部を改正する条例

予 算 (原案可決)

- ・平成27年度石巻市一般会計予算
- ・平成27年度石巻市土地取得特別会計予算
- ・平成27年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計予算
- ・平成27年度石巻市下水道事業特別会計予算
- ・平成27年度石巻市漁業集落排水事業特別会計予算
- ・平成27年度石巻市農業集落排水事業特別会計予算
- ・平成27年度石巻市浄化槽整備事業特別会計予算
- ・平成27年度石巻市市街地開発事業特別会計予算
- ・平成27年度石巻市産業用地整備事業特別会計予算
- ・平成27年度石巻市国民健康保険事業特別会計予算
- ・平成27年度石巻市後期高齢者医療特別会計予算
- ・平成27年度石巻市介護保険事業特別会計予算
- ・平成27年度石巻市病院事業会計予算
- ・平成26年度石巻市一般会計補正予算(第12・13号)
- ・平成26年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第4号)
- ・平成26年度石巻市下水道事業特別会計補正予算(第6号)
- ・平成26年度石巻市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)
- ・平成26年度石巻市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)
- ・平成26年度石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第8号)
- ・平成26年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

予 算 (原案可決)

- ・平成26年度石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- ・平成26年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第5号)
- ・平成26年度石巻市病院事業会計補正予算(第4号)
- ・平成27年度石巻市一般会計補正予算(第1号)
- ・平成27年度石巻市下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- ・平成27年度石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第1号)

そ の 他 (原案可決)

- ・専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(平成26年度石巻市一般会計補正予算)
- ・あらたに生じた土地の確認について
- ・町の区域を変更することについて
- ・市道路線の認定について
- ・市道路線の廃止について
- ・市道路線の変更について
- ・財産の取得の一部変更について
((仮称)石巻市宮大街道西二丁目復興住宅)
((仮称)石巻市宮中央一丁目復興住宅)
((仮称)石巻市宮大街道西一丁目復興住宅)
- ・財産の取得について
((仮称)石巻市宮新渡波C復興住宅)
((仮称)石巻市宮大浜復興住宅)
((仮称)石巻市宮熊沢復興住宅)
((仮称)石巻市宮名振復興住宅)
- ・財産の処分について
- ・工事請負の契約締結について
(石巻市総合運動公園造成(その3)工事)
(屋敷浜猪落線道路改良工事)
((仮称)日和が丘一丁目団地復興公営住宅・寿楽荘複合施設建設工事)
((仮称)日和が丘一丁目団地復興公営住宅・寿楽荘複合施設建設機械設備工事)
((仮称)石巻市水産総合振興センター建設工事)
((仮称)石巻市水産総合振興センター建設電気設備工事)
((仮称)石巻市水産総合振興センター建設機械設備工事(門脇中学校校舎耐震補強その他改修工事)
(二俣小学校校舎耐震補強その他改修工事)
((仮称)石巻東学校給食センター建設電気設備工事)
((仮称)石巻東学校給食センター建設機械設備(その2)工事)
(23年災長面漁港海岸保全施設災害復旧(その1)工事)
(23年災十八成浜漁港海岸離岸堤災害復旧工事)

- (23年災大須漁港ほか1漁港災害復旧工事)
- (蛇田排水ポンプ場建設その1工事)
- (災復26-2号東3処理分区污水管渠(2工区)災害復旧工事)
- (災復26-3号東3処理分区污水管渠(3工区)災害復旧工事)
- (災復30-2号東16処理分区污水管渠(2工区)災害復旧工事)
- (災復30-3号東16処理分区污水管渠(3工区)災害復旧工事)
- ・工事請負契約の一部変更について
(水産物地方卸売市場牡鹿売場・牡鹿製水冷蔵庫建設工事)
(蛇田排水ポンプ場流入管渠築造工事)
(災復12号北1処理分区外污水管渠災害復旧工事)
(新渡波地区土地区画整理事業宅地造成(その2)工事)
(牡鹿(小網倉、清水田浜・給分浜・十八成浜・泊浜)地区防災集団移転宅地造成工事)
((仮称)石巻第二霊園整備工事)
(湊こども園等複合施設建設工事)
(石巻市総合運動公園造成工事)
(災復13-1号北7処理分区污水管渠(1工区)災害復旧工事)
(災復22号蛇田処理分区污水管渠災害復旧工事)
(新蛇田地区土地区画整理事業宅地造成(その2)工事)
(雄勝(名振・大須)地区防災集団移転宅地造成工事)
(牡鹿(鮫浦・前網浜)地区防災集団移転宅地造成工事)
- ・指定管理者の指定について
(石巻市かなんパークゴルフ場)
(石巻市道の駅「上品の郷」)
- ・財産の無償譲渡について(4件)
- ・業務委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について
(石巻市黄金浜北地区災害公営住宅整備事業)
- ・業務委託の契約締結について
(防災ラジオ整備事業)
- ・財産の無償貸付けについて
- ・財産の無償貸付けの一部変更について

人事案件 (異議がない)

- ・人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて

議 会 (原案可決)

- ・石巻市議会会議規則の一部を改正する規則

第1回定例会で議決した議案の中から

可決された条例の中から

◆石巻市営住宅管理運営基金条例

○現在整備を進めている復興公営住宅4,500戸が完成した場合、既存の市営住宅を合わせると5,800戸あまりの市営住宅を管理することとなるが、住宅を適切に維持するための改修工事等を実施する後年度の負担増に備えるため、基金を設置するもの。

◆石巻市津波避難タワー設置条例

○今後発生が予想される宮城県沖地震等に伴う津波から、高台や津波浸水区域外に迅速に避難できない方々の生命及び身体の安全を守る避難施設として、石巻市津波避難タワーを設置するため、本条例を制定するもの。

◆石巻市防犯カメラの設置及び運用に関する条例

○市が公共施設等に設置する防犯カメラについて、設置、管理及び運営に係る必要な事項を定めることにより個人の権利利益の保護を図り、安全で安心して暮らせる地域社会の実現に寄与するために、本条例を制定するもの。

◆石巻市市税条例の一部を改正する条例

○東日本大震災により被災した土地及び家屋に係る固定資産税及び都市計画税については、地方税法の特例措置により、津波で浸水したと見込まれる地域の土地及び家屋の使用状況や社会資本復旧状況を総合的に勘案し、毎年度区域の見直しを図り、課税免除を適用してきたが、当該措置は平成26年度で終了となる。本市の復興・復旧には今後も相当の時間を要し、また、一部区域では使用が制限されている状況等から引き続き被災された方々の負担の軽減を図るため、平成27年度以降は、本条例第71条第1項第3号の規定を適用し、個々の土地及び家屋の被害状況に応じて減免を行うこととした。

減免の手続は、納税義務者から申請書の提出が必要であるが、納税義務者の便宜と手続の簡素化を図るため、職権により減免できるように、本条例の一部を改正するもの。

可決された補正予算のおもな中身は

今回の補正予算は、復興まちづくり情報交流館の北上館整備に要する経費のほか、離島航路の維持及び経営支援に要する経費、路線バスの運行に対する補助金、震災により環境が激変した求職者に対する就労支援に要する経費、次世代施設園芸コンソーシアムが実施する施設園芸拠点の整備に対する補助金、山下小学校暖房用ボイラー設備のアスベスト対策工事に要する経費などについて、所要額を措置したもの。

また、各種事務事業の執行状況等による整理、各種特別会計への繰出金、国庫補助金等の確定に伴う歳入予算の整理なども併せて行ったもの。

◆総務費では

- ・民間事業者が運行する離島航路の維持及び経営支援に要する経費
- ・路線バスに対する運行費補助金
- ・北上地区の情報交流館整備に要する経費

◆民生費では

- ・市内に住所を有する方のうち、他市町村の保育所へ入所している児童に係る委託費

◆衛生費では

- ・病院事業会計負担金

◆農林水産業費では

- ・水産加工団地共同排水処理施設の不明水処理に係る負担金

◆商工費では

- ・次世代施設園芸導入加速化支援事業により農業生産法人が実施する施設園芸拠点の整備に対する補助金の増額

◆土木費では

- ・蛇田新橋の架け替えに伴う詳細設計委託料の増額

◆消防費では

- ・原子力災害時の屋内退避施設で必要となる資機材及び物資の備蓄に要する経費

◆教育費では

- ・暖房用ボイラー送風管のアスベスト対策工事に要する経費

3月4日から6日及び19日の本会議で、予算や条例、補正予算などの議案が審議され、総務企画、環境教育、保健福祉、産業建設の各常任委員会に付託されました。各常任委員会で審査されたことの中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

各常任委員会での審査

総務企画委員会

結婚支援事業について

Q 結婚支援事業の内容について伺う。

A 農業従事者の男性との結婚を考える女性を募集し、イベントを行う。

また、参加男性に対し身だしなみやコミュニケーションの取り方等の事前講習会などを開催する予定である。

石巻市防犯カメラの設置及び運用に関する条例について

Q 平成27年度中に設置される予定の防犯カメラについて伺う。

A 中心市街地の犯罪が多くなっていることから、立町近辺及び小柳町通り等に7から9台程度必要であると想定している。

また、個人情報を取り扱うという観点から個人情報保護審査会に諮問したところ、設置の根拠を新たな条例に求めるべきとの答申があり、条例を制定することとした。

環境教育委員会

雨水利用タンク普及促進事業について

Q 平成26年度雨水利用タンク普及促進事業をどのように評価しているか伺う。

A 雨水タンクの設置目的は、適る環境への負荷軽減であるが、付加機能として、災害時に水がたまっていれば、それを雑用水に使えるし、雨水の有効活用によりタンクの容量が余っていれば、短時間豪雨の緩和につながるものである。

雨水利用タンク普及促進事業は、水循環基本法など国の法整備も進んでおり、市として非常に推進したい事業であるが、なかなか普及が進まず苦慮している。雨水の有効利用や水循環の大切さについて、これまで市報、新聞等による周知や販売店への協力依頼を行ってきたが、今後は、普及に説得力のある利用者の声を活用した啓発をしていきたい。

保健福祉委員会

夜間急患センター建設事業について

Q 夜間急患センターの開院時期等について伺う。

A 石巻赤十字病院の増築工事がある程度終了してからの建設となるため、開院は来年夏頃の予定となる。建設規模は、延べ床面積で約740・68平方メートルを予定しており、石巻赤十字病院と連携することで、病床やCT及びエレベーターなどの附属施設を廃止し、震災前の夜間急患センターに比べ規模は縮小となる。

平成27年度石巻市病院事業会計予算について

Q 市立病院の建設について、国から補助金の増額がなかった場合の規模縮小について伺う。

A 附帯決議の内容については重く受け止めている。しかし、規模縮小を行った場合、これに連動した県補助金の減額のほか設計変更費用の増額、工期の遅れ等が懸念される。また、石巻医療圏の不足病床数解消をはじめ、切れ目のない医療提供体制構築のため市立病院の早期開院を考えた場合、慎重に検討しなければならぬと考えている。

Q 市立病院建設後の病院経営について伺う。

A 人口減少に伴う患者数の減少も懸念されるが、市立病院は在宅医療や療養にも力を入れることとしており、高齢化が進んでいる状況から、患者数は増えるの見込んでいる。診療報酬は、今までの急性期医療より

も下がるが、病床稼働率を80%位と予想しており、平成30年度の安定期には、黒字経営化できる見通しであり、詳細な収支計画については、現在、コンサルタントに委託している開設支援業務の中で策定を進めている。

産業建設委員会

プレミアム商品券について

Q 発行に向けた詳細について伺う。

A 全ての市民に還元できるように1万円の3割増しで6万セットを作成し、原則1世帯に1セットの販売を考えているが、在庫が出た場合は2セット目についても購入できるように検討していく。

Q 販売に向けた今後の計画について伺う。

A 緊急経済対策として早期販売を目指しているが、販売店の公募や商品券の偽造防止用特殊加工などに時間を要することから、夏の販売を目標に作業を進めていく。

第1回定例会に提出された請願

■蛇田支所等複合施設早期建設に関する請願

(請願者) 蛇田地区行政委員会区長会
会長 黒須啓一
蛇田公民館利用団体連絡協議会
会長 鹿又圭子

※この請願は、総務企画委員会でも審査され、本会議で採択されました。

第1回臨時会に提出された議案と審議結果 (平成27年1月28日開催)

その他 (原案可決)

- ・財産の取得について
((仮称)石巻市宮中央一丁目南復興住宅)
((仮称)石巻市宮立町二丁目復興住宅)
(魚体選別機等)
(電動フォークリフト等)
- ・工事請負の契約締結について
((仮称)石巻東学校給食センター建設機械設備(その1)工事)
(災復31号東17~26処理分区汚水管渠災害復旧工事)
(新蛇田南第二地区土地区画整理事業宅地造成(その2)工事)
- ・工事請負契約の一部変更について
(新蛇田地区土地区画整理事業調整池築造工事)
(新蛇田地区汚水管渠築造工事)

第1回定例会に提出された陳情

■人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める陳情

(提出者) 在日本大韓国民団宮城県地方本部

団長 田 炳 樟

※全議員へ参考回付しました。

■地方教育行政法の改正にともなう教育委員会制度改革に関する陳情

(提出者) 民主教育をすすめる宮城の会

代表者 太田 直道

※全議員へ参考回付しました。

第1回定例会 起立採決のあった議案に対する各議員の賛否

議席番号	氏名	第58号議案 平成27年度石巻市病院 事業会計予算	第83号議案 平成26年度石巻市一般 会計補正予算(第12号)	議会議案第1号 石巻市議会議規則の 一部を改正する規則
1	黒 須 光 男	×	×	○
2	奥 山 浩 幸	○	×	○
3	阿 部 利 基	○	×	○
4	高 橋 憲 悦	○	×	○
5	楯 石 光 弘	○	×	○
6	安 倍 太 郎	—	—	—
7	阿 部 正 春	○	×	○
8	遠 藤 宏 昭	○	×	○
9	大 森 秀 一	○	×	○
10	木 村 忠 良	○	×	○
11	櫻 田 誠 子	○	○	○
12	渡 辺 拓 朗	○	○	○
13	首 藤 博 敏	○	○	○
14	山 口 莊 一 郎	○	○	○
15	水 澤 富 士 江	○	○	×
17	阿 部 正 敏	○	○	○
18	近 藤 孝	欠	欠	欠
19	阿 部 久 一	○	×	○
20	丹 野 清	○	×	○
21	森 山 行 輝	○	×	○
22	阿 部 欽 一 郎	○	×	○
23	伊 藤 啓 二	○	○	○
24	千 葉 眞 良	○	○	×
25	高 橋 栄 一	○	○	○
26	青 山 久 栄	○	○	○
27	庄 司 慈 明	○	○	×
28	西 條 正 昭	○	○	○
29	後 藤 兼 位	○	○	○
30	千 田 直 人	○	○	○
	賛 成	26	14	24
	反 対	1	13	3
	欠 席	1	1	1

※○：賛成、×：反対、欠：欠席 ※安倍太郎議員は議長であるため採決には加わりません。

～ 会派代表質疑 ～

施政方針をたぐす

第1回定例会の初日、亀山市長による施政方針演説が行われ、この施政方針に対する質疑が、3月2日と3日の両日、各会派の代表5名により行われました。その中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

将来の石巻市を見据えた
「本格復興の年」

施政方針要旨

重点施策

- 一、市民の暮らしの再生
- 二、災害に強い街づくり
- 三、産業の再生と雇用の確保
- 四、絆と協働の共鳴社会づくり

主要な施策

- 市民生活の復興に必要な基盤づくり
- 市民生活に密着したインフラの整備
- 市民が健康で暮らすための施策
- 子どもたちの健全な育成のための施策
- 市民が安心して生活するための防災対策
- 市民の礎となる産業の復興に向けた基盤づくり
- 中小企業の再生、復興



亀山 紘 市長

施政方針に対する質疑通告一覧

阿部 欽一郎 (ニュー石巻)	<ol style="list-style-type: none"> 1 「市長の政治姿勢」について 2 「市民の暮らしの再生」について 3 「災害に強い街づくり」について 4 「産業の再生と雇用の確保」について 5 「絆と協働の共鳴社会づくり」について
千田 直人 (石巻復興の会)	<ol style="list-style-type: none"> 1 市長の基本姿勢・重要政策について 2 「市民の暮らしの再生」について 3 「災害に強い街づくり」について 4 「産業の再生と雇用の確保」について 5 「絆と協働の共鳴社会づくり」について 6 財産収支見通しについて
高橋 栄一 (創生会)	<ol style="list-style-type: none"> 1 市長の政治姿勢について 2 市民の暮らしの再生について 3 災害に強い街づくりについて 4 産業の再生と雇用の確保について 5 絆と協働の共鳴社会づくりについて
伊藤 啓二 (公明会)	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民の暮らしの再生について 2 災害に強い街づくりについて 3 産業の再生と雇用の確保について 4 絆と協働の共鳴社会づくりについて 5 地方創生について
庄司 慈明 (日本共産党石巻市議団)	<ol style="list-style-type: none"> 1 市長の指導力と政治姿勢について - 石巻の独自性を発揮するには - 2 「市民の暮らしの再生」について - 被災4年を迎える市民の心に寄せて - 3 「災害に強い街づくり」について - 最大被災地からの発信 - 4 「産業の再生と雇用の確保」について - 経済は循環している - 5 「絆と協働の共鳴社会づくり」について - 優しさが全ての基本 -

・市民の暮らしの再生について



ニユー石巻
阿部欽一郎 議員

- 問** ①復興公営住宅の同居状況、空き家対策は。
②住宅再建支援策の支援内容の拡充策とは。
③駅前周辺整備事業の見通しはいかに。
- 答** 『被災者の住宅再建を更に加速化させる。』

①同居済み及び3月末までに同居開始となる430戸のうち、61戸が空き家である。対策としては随時同居募集を行い、効率的な運営を図っていく。

②4月から拡充する主な内容は、住宅の建設または購入の利子補給補助の上限額を300万から444万円に、金融機関から住宅再建資金を借り入れなかった場合の取得費用補助の上限額を150万から250万円とする。

また、かさ上げ費用補助と補修費用補助については、補助金上限額は現行のまま、補助率を対象経費の2分の1から1分の1に引き上げることとした。

③駅前周辺に建設予定の（仮称）ささえあいセンター及び（仮称）防災センターは、平成28年度の完成を目指す。

問 南三陸金華山国定公園が、今年3月31日に、三陸復興国立公園に編入されるが。

答 国立公園という知名度を生かし、観光客の誘客や交流人口の増加を図っていく。編入後に期待されるメリットとしては、環境省が北上地区にフィールドミュージアム、牡鹿地区にビジターセンターを整備するほか、みちのく潮風トレイルの路線設定なども見込まれ、地域の観光振興を図る上で大きな力になる。

・基本姿勢と重要政策について



石巻復興の会
千田 直人 議員

- 問** ①「歳月人を待たず」と表現「復興の加速化に決意新た」と話す。改めて心意を伺う。
②「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が掲げる人口減少と経済縮小に取り組む。とは、効果的な政策を伺う。

答 復興の加速化に全身全霊を捧げる
①不自由な生活を余儀なくされる仮設住宅の方々を思い、再建加速化に全身全霊を捧げる。

②「創生総合戦略」プレミアム商品券、3割増し6万セット発行し経済効果に期待する。

問 「七窪蛇田線」は市中心部アクセス向上の重要路線、最優先で取り組む事業だが、伺う。

答 用地取得に向け地権者と情報交換等開催し、30年度末の完成を目標に鋭意努力する。

問 ハザードマップは「土砂」と「津波」二種類作成し円滑迅速な避難を確保、具体的に伺う。

答 住民の自発的な対応行動がとれるよう意思疎通を図り、ハザードマップの認知に努める。

問 「観光交流施設」整備し市街地の活性化賑わい創出、年間百万人来場見込む大事業、具体的に伺う。

答 運営会社準備委員会を設立し、産業界の出資を募り、代表者も産業界総意で選出する。

問 複合文化施設（市民会館）は文化芸術復興に欠かせない。双方向集える場所が理想、伺う。

答 28年度以降に基本設計及び実施設計を行い、出来る限りの早期完成を目指す。

震災復興の進捗状況をどのように総括しているか伺う。



創生会
高橋 栄一 議員

問 震災復興の進捗状況をどのように総括しているか伺う。

答 安全安心対策としての防潮堤や高盛土道路の建設、住まいの再建としての復興住宅の建設、防災集団移転促進事業による新市街地の整備、医療体制の整備、水産業の復興など、未曾有の被害を受け、最大の被災地となった本市としても確実に復興への道を歩んでいると感じている。

しかしながら、多くの復旧・復興事業を進めて行く上での財源確保やマンパワー不足など課題も多く、さらにスピード感を持ち取組んでいく必要があると考えている。

問 新市立病院内に「石巻地域医療教育サテライトセンター」が設置されるとあるが、具体的な内容と期待される効果について伺う。

答 来夏夏頃に開院する石巻市立病院内に設置し、地域医療の総合診療医を目指す学生の5年次の臨床実習の場とすることとしている。

また、指導医が常駐し医療教育を行うとともに、診療支援も実施することから、医療の質の向上や医師不足の解消等が期待されるものである。



公明会

伊藤 啓二 議員

・防災集団移転事業について

問 新蛇田、新渡波の防災集団移転地へ、災害危険区域以外の被災者の移転希望も多いことから早期に宅地区画の提供をすべきであるが、どうか。

答 新市街地の宅地を有効に活用するため、災害危険区域以外の市民の方へも宅地提供する方針であり、本年秋頃までには募集開始をしたい。

・仮設住宅での生活における健康問題について

問 長引く仮設住宅での生活により、入居者の呼吸器力ピアルルギー等の発症数値が増加している。この対策について。

答 予防対策として、エアコンによる除湿や換気などの啓発チラシを配布してきた。今後は地域生活支援員などと連携して、カビ発生防止と情報収集など迅速な対応を図る。

・少子化対策について

問 放課後児童クラブや保育所の待機児童が長年にわたり解消されていない。

答 放課後児童クラブは平成27年度から小学校6年生まで拡大するため、176名の待機児童が生じる。余裕教室の改修を行い蛇田地区は本年の8月までに、中里・万石浦・稲井地区等は2学期中に整備する。保育所は公立保育所の整備とともに、民間保育所設置の補助を継続実施していく。

・地方創生について

問 人口減少対策・地域活性化を目指す当市の戦略について。

答 多様な就業機会の創出、地域社会を担う個性豊かな多様な人材確保につながる総合戦略を平成27年度に策定していく。

・産業の再生と雇用の確保について

問 6次産業の雇用対策・特産品等の販売促進対策・水産加工業の雇用対策について。

答 「石巻市6次産業化・地産地消推進センター」を設置し商品開発及び販路開拓等の事業支援を行い成果が出てきている。水産加工業の雇用確保が厳しい状況は認識している。従業員の問題や送迎等について、県が創設した「県水産加工業人材確保支援事業」の検討を行う。



日本共産党石巻市議団

庄司 慈明 議員

・原発再稼働と市長の政治姿勢

原子力災害の避難計画を中心に

問 県のガイドラインでは、15万石巻市民は27の自治体に避難すること。しかも、原子力災害と自然災害とが複合して発生したことを前提とした計画を求めている。策定は極めて困難と思えるが、どの様に臨むのか。

答 受入先との交渉等様々な課題があるが、実効性ある避難計画を作る事が必要と考える。

15万市民の避難計画であり、非常に困難なことが多いと思っている。

問 避難計画の作成者である石巻市は、社会的な道義的な、そして法律的な責任はあると思われる。避難計画に従っての避難中に、被曝した場合の責任をどの様に考えるのか。

答 法律的責任まではちよつと想定していなかったが、検討させていただきたい。

問 担当者の苦労は相当なもの。震災以来の市職員に対する慰労の言葉を述べて欲しい。

答 市職員は40名を超す犠牲者を出し、また自らが被災する中で、この4年間頑張っています。心身の疲労の蓄積も相当なものと思われ、その懸命な努力に心から感謝申しあげたい。

・市民の暮らしの再生

カビ問題・家賃低減策を中心に

問 低断熱で高気密の特徴がある仮設住宅での健康調査では、空气中を浮遊するカビの胞子が通常の160倍の値が出て、喘息患者が通常の2倍程度となっているとの報告がある。

答 自身、10年間ほど喘息発作で苦しんだ経験もありその大変さはよく分かる。市に相談に来て欲しいし、生活環境の改善のために努力したい。

宮城県議会との意見交換会



▲意見交換会の様子

議会トピックス

1月28日、宮城県議会大震災復旧・復興対策調査特別委員会県内調査が実施され、石巻市議会東日本大震災復興再生特別委員会と「東日本大震災からの復旧・復興の進捗状況について」を議題に活発な意見交換が行われました。

本委員会からは、県道整備の開始時期の質疑や建設中の市立病院の財源措置について要望しました。

一般質問

議員18人が登壇

市政を問う!

第1回定例会の一般質問は、3月19日、20日、23日、24日、25日の5日間行われました。今回は18人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただしました。その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは、質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

一般質問通告一覧

(※議員名の前に付いている番号は質問順序です)

<p>①黒須光男</p> <ol style="list-style-type: none"> 流行語から見えてくる世相と市政の現況について 土地改良区の統合推進に向けた市の取り組みについて 人口が急増する蛇田地区の公共施設のあり方及び県合同庁舎の別館として建設される会議室の利用等について 	<p>⑩阿部利基</p> <ol style="list-style-type: none"> 人口流出対策と市の将来について 市職員の職場環境とこれからの方針について 教育環境の整備について
<p>②遠藤宏昭</p> <ol style="list-style-type: none"> 市民の声を活かしたまちづくりについて 小中学校における今後の課題について 	<p>⑪千葉眞良</p> <ol style="list-style-type: none"> 復興祈念公園について 湊地区の復旧復興について 牧山防災の森（避難の森）づくりについて
<p>③森山行輝</p> <ol style="list-style-type: none"> 土地改良事業について 	<p>⑫水澤富士江</p> <ol style="list-style-type: none"> 女川原発の現実離れした避難計画と市民の安全について 震災後の学校の現状と課題について 市街地再開発について
<p>④大森秀一</p> <ol style="list-style-type: none"> 駅前周辺整備について 複合文化施設について 中瀬地区公園整備について 排水不良地のポンプ場整備について 桃生地区諸課題について 	<p>⑬渡辺拓朗</p> <ol style="list-style-type: none"> 被災者支援と地方創生 <ol style="list-style-type: none"> ①住宅再建の支援金について ②仮設住宅の利活用について ③雄勝石の活用について ④奨学金について 健康維持 <ol style="list-style-type: none"> ①レセプト活用で医療費削減 ②一次救急救命について
<p>⑤山口荘一郎</p> <ol style="list-style-type: none"> 石巻の針路について 石巻市防犯カメラの設置及び運用に関する条例について 	<p>⑭楯石光弘</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域の農業振興について 本市の運動・スポーツ振興について
<p>⑥首藤博敏</p> <ol style="list-style-type: none"> ふるさと納税について 各種選挙における投票率の向上等について 地域自治システムの推進について 	<p>⑮後藤兼位</p> <ol style="list-style-type: none"> 復旧・復興加速の課題と行財政運営について <ol style="list-style-type: none"> (1) 固定資産税課税減免指定区域の現状と課題について (2) 防災集団移転促進事業の進捗状況について (3) 石巻市南浜地区復興祈念公園（仮称）基本構想について (4) 仙石線・石巻あゆみの駅整備計画と青葉西地区まちづくりについて
<p>⑦奥山浩幸</p> <ol style="list-style-type: none"> 地方創生時代における市街化調整区域の考え方について 応急仮設住宅の集約化について 定員割れの市立幼稚園について 	<p>⑯西條正昭</p> <ol style="list-style-type: none"> 少子化や人口減少に対する地方創生の利活用について 賑わいの創出について 災害に強い街づくりについて
<p>⑧阿部正春</p> <ol style="list-style-type: none"> 防災マリナーについて 震災遺構について 義務教育中のトップアスリートを目指す子どもたちについて 	<p>⑰阿部正敏</p> <ol style="list-style-type: none"> 住宅再建について 観光政策について 雇用対策の取り組みについて
<p>⑨櫻田誠子</p> <ol style="list-style-type: none"> 被災者支援について 職員の確保策について 地方創生について 	<p>⑱高橋憲悦</p> <ol style="list-style-type: none"> 亀山市長の失政の原因究明と山積する行政課題の取り組みについて



黒須 光男 議員

問 「ダメよ、ダメダメ」流行語は世相を表わす言葉ですが、現代社会は多くが何事も現状肯定的で、人口減少で定常的な経済でなければならぬのに、政治家も役人も解決策を示せず言いたい事が言えない環境がさらなる膠着状態を招いているのではないのでしょうか。パキスタンの16歳の少女「マララさん」がノーベル平和賞を受けられました。「私はタリバンに撃たれた少女だとは思われたくない。教育のために戦った少女だと思われたい。そのために私は人生を捧げるつもりだ。」ダメはダメだとして生命をかけて行動した少女の言葉は、漫然と流されている私たちに何をなすべきか示唆していますが、市長はどのように理解されておりますか。

答 次に、市の発注する入札において、談合疑念が読み取れ特定の市長に近い会社のみが特に高い受注であり、改善すべきです。

次に、蛇田地区の支所及び公民館の建設ですが、震災後人口が急増し、施設の老朽化や文化活動への影響は大であり、地元からの請願も3月9日総務企画委員会で採択されていることから早期着工を図るべきであります。

問 「マララさん」の行動は見習うべきことが大きい。談合はないと思っており、公平な入札に心がける。蛇田の複合施設の建設に対しては、地元の皆様さんと協議を深め建設に向けて努力する。



遠藤 宏昭 議員

・市民の声を活かしたまちづくりについて

問 昨年7月7日、石巻市立病院建設事業費について、市議会において「附帯決議」が可決されました。その中で「国の財源手当が無ければ、地域医療どころか石巻市の復興全体を停止させてしまうとの危機感を持ち、市長は政治責任をかけて、市立病院建設財源について国費による財政支援を確保すること」とあります。

まさに議会では、病院建設に固執するあまり、石巻市自体が倒産してしまうのではないかと危惧しているのです。

市長は、議会からの「附帯決議」をどこまで真剣に受け止めているのか、伺う。

ブレハブ仮設住宅の集約化の時期及び方針については、仮設住宅からの「自立による退去」に向けた行政としての取り組みを市民にしっかりと周知し、集約化に向けた方向性をきちんと示すべきだと思いますが、市長の所見を伺う。

蛇田地区の人口が2万人を突破するのも目前に迫り、蛇田支所および蛇田公民館の複合施設の早期建設が喫緊の課題となっておりますが、市長は現状をどう認識されているか。

答 附帯決議はとても重いものであり、気になっている。集約化については、さまざまな観点から検討する。蛇田地区の住民との対話を重視し、早期整備に向けて努力する。



▲本会議場の質問席



森山 行輝 議員

・土地改良事業について

問 我が国の食料自給率について一九六五年に73%あったものが、今や38%にまで落ち込んでいて、私は大変憂慮すべきと考えています。そんな中で食料の優等生と言われる「米」を作付している水田等に関して、多面的な機能の維持、かつ向上を担って連日活動されている土地改良事業について、当局の御認識を伺いたい。

また、日ごろ雨水、雑排水についてもそれぞれの排水機場において処理をしていただいておりますが、市政への貢献は大なるものがありますが、米価の下落や組合員の減少等で将来土地改良区の合併も現実のものとなってきています。市としての支援体制構築について伺います。

答 土地改良事業の目的は、区画整理や農用地の造成、灌漑排水等の農業施設の新設・改良等の施行により、農業農村の発展のために必要な事業であると認識している。

市内土地改良区による合併に向けた行動については、昨年12月に「石巻地域土地改良区統合整備推進研究会」の設立に関する要望書が提出されました。その要望の実現に向けて、県や県土地改良事業団体連合会との協議の結果、平成29年3月の合併認可に向けて鋭意支援体制を構築してまいります。



大森 秀一 議員

問 サテライトセンターについて、どの程度東北薬科大学と内容をつめているのか伺う。

答 昨年度から協議を進めている。サテライトセンターについては、東北薬科大学は指導医が常駐し、年間50人ずつ教育する計画であり、文科省への許可申請前に大学側と詰めていく。

問 老朽化が進む桃生農業者トレーニングセンターの修繕整備計画について伺う。

答 雨漏りや不具合な箇所について、今後調査を進め関係部署と協議し、早期改善を図る。

問 中瀬に設置された立像「輝く人」が解体された。再設置に向けた市の対応について伺う。

答 中瀬地区公園整備検討委員会で公園整備計画策定を進めており、その中で検討していく。

問 植立山公園の松の樹が松くい虫に侵食されている被害の状況と今後の対応について伺う。

答 本年度に被害木約90本を伐採し、今年度中に残り約390本の伐採を予定しており、引き続き、薬剤の地上散布と樹幹注入による被害防止に努めていく。



山口 荘一郎 議員

・「石巻の針路について」

問 集中復興期間の終了が示唆されている中、震災復興基本計画に記載されている牡鹿半島を横断する避難道の整備をどう進めるか。

答 早い段階で整備できるよう要望を続けていく。

問 地方版総合戦略立案にあたり、企業の取引情報等のビッグデータを扱う地域経済分析システム等の運用が開始される。戦略にはコンサル頼りではなく、機密情報を扱う20人の選定と戦略・分析チームの結成が必要ではないか。

答 コンサルは使用するものの、数値目標も含めて個々の政策については戦略チームを立ち上げて議論することが必要と考える。

・「石巻市防犯カメラ設置条例について」

問 条例の目的に防犯カメラを設置するための意義が記されておらず、個人の権利利益の保護だけが全面に出た表現となっていることに違和感が無いのか。

答 目的の条文には明文化していないものの、条例設置の目的は防犯カメラ設置による犯罪抑止力の向上である。

問 画像管理、加工禁止など、運用する段階で条例改正も柔軟に検討すべき。

答 運用する過程で柔軟に対応していく。



首藤 博敏 議員

・ふるさと納税について

問 ふるさと納税の寄附上限額が二倍に引き上げられ、給与所得者に限り簡素な手続きで行えるようになる。ふるさと納税を一層飛躍させるため、どう取り組むのか。石巻市民による石巻市への寄附も推進すべきではないか。

答 寄附者に贈るふるさと産品を定期的に入替え、魅力ある産品を用意し、リピーターを確保したい。石巻市民からの寄附は少ない。

・各種選挙における投票率の向上等について

問 期日前投票の利用を促し、選挙期日当日の投票時間は二時間繰り上げてはどうか。また、若い世代の投票率をどう向上させるのか。

答 選挙権年齢の十八歳への引き下げが検討されており、今後、高校生を含めた若者への啓発を図りたい。投票時間の繰上げについては、公職選挙法の問題もあり慎重に検討したい。

・地域自治システムの推進について

問 地域の自治力を強化するため、地方自治法に基づく地域自治区制度を導入すべきでは。

答 地域自治区制度の導入では、恒久的な地域自治の体制づくりが期待されるが、区域設定が難しいことや、区域により住民自治の成熟度に偏りが生じることも考えられ、慎重に検討していく必要があるものと考ええる。



奥山 浩幸 議員

市街化調整区域の考え方について

規制緩和の必要性

市街化調整区域の現状は、生業としていた優良な農地や、豊かな自然環境を守る人たちが住んでいるが、人口減少により限界集落になりつつある。これまで都市計画法の規制のもと、新たな家を建てる事ができないため、自然環境の維持と、地域コミュニティの崩壊の危険性という大きな課題を抱えている。

震災を機に、安価な土地に家を建て、のどかな田園風景の中で土を耕し、野菜などを作りながら生活したいと思ひ、自立再建を目指している人もいます。市街化調整区域内で、地域の担い手を案じている方々や、被災者の思いを実現するには、安易な農地転用や乱開発を避け、これまでの生業や地域の営みなど、市の現状にあったバランスの取れた街づくりを進めるべきであり、市街化調整区域にとつての規制緩和は、定住人口を確保する上で必要な施策であると確信している。

都市計画法の改定により、石巻市の判断で市街化調整区域内に、一定の要件のもと自己用住宅の立地を認める「条例」を制定する事ができる。当市にとつて、自然環境や地域コミュニティが崩壊する前に、いかに人の繋がりを取り戻せるかが重要な課題であり、市街化調整区域における人口減少の歯止め策として、規制緩和の必要性を強く訴えるものですが、規制緩和は、できるかできないかだけでなく、石巻市がやるかやらないかなのです。市長の見解を伺う。

単なる利便性を追求するのではなく、田園風景の中での豊かさを求めた住まいに向け、これからのニーズを確認しながら、人口減少社会の中で今後の状況を判断し、市街化調整区域の見直しをしっかりと精査していく。



▲石巻市ののどかな風景



阿部 正春 議員

防災マリナーについて

このマリナーは全て陸揚げして置くマリナーのか。

全て陸揚げ保管を考えている。

観光面でも重要と思うが係留のできるマリナーは考えていないのか。

防災マリナーは、全て陸揚げ保管を基本的に考えている。

震災遺構について

門脇小学校に関して検証委員会の答申でも遺構として残すとの結論だったと思うが、この門小、震災遺構としてどのようにお考えか伺う。

門脇地区、市民アンケートの結果を見ても意見が分かれており難しい判断が求められると認識しており、この地区に住まわれる方々、市民の皆さまから意見を聞きながら検討し、判断をしていきたい。

大川小学校においても3月20日の協議会で校舎を保存することにまともだったようだが、遺構としてどの様に思うか伺います。

まだ、正式に協議会から何もないので何とも言えない。

遺構として残す経費、ランニングコストを考えると二つも残すことには反対。この大川小学校については、遺族が損害賠償を求める民事訴訟を起しており、校舎を簡単に撤去することはできないと思うが、伺います。

正式に協議会から何もないので何とも言えない。

義務教育中のアスリートを目指す子どもたちについて

様々な大会に出場して学校を欠席することに對しどの様に対処されるか伺う。

原則として、欠席。国、県の主催する大会で、教育上有意義であると認めた場合、出席とする。

トップアスリートを育てる環境作りが必要ではないのか。

みやぎジュニアトップアスリートアカデミーに当市の小学生も参加しており、教育委員会でも協力していきたいと思う。



櫻田 誠子 議員

被災者支援について

復興住宅について

これまでに2回の抽選において事前登録決定とならなかつた世帯への次の登録時期と今後の建設は希望の多い地区に配慮すべきでは。

市全体の配置バランスを考慮する上で、希望の多い地区への建設に取り組み、秋頃までに残る世帯の事前登録決定を完了したい。

防災集団移転地の新市街地への移転対象世帯が危険区域外にも拡大され分譲する方針が示された。危険区域外の方も解体し仮設住宅入居の方もある。借地対応すべきと考える。

国の方針としては、危険区域外は分譲というところであるが、要望に応えられるよう努力する。

危険区域の方が仮設住宅から復興住宅に転居の際は、がけ地近接等危険住宅移転事業の移転費用の実費払いが対象となる。危険区域外の方へは10万円が支給され不公平であるとの声があり改善すべき。

危険区域の方ははじめ国の制度のがけ地近接等危険住宅移転事業を使うが、自力で転居の世帯や、転居費用が安価の場合もある。被災した方が不利益にならない様に早急に改善に努める。

プレミアム商品券発行について

三割増し6万セットの販売は工夫が必要。なおアンケートを実施し、今後に生かすべきでは。

高齢者、障がい者世帯にも配慮して行う。



阿部 利基 議員

・人口減少対策と石巻市の将来について

問 市政の将来について、特に福祉重視では財源不足が懸念されるが、その対策はきちんとなされているのか？ 国の地方創世の流れもある。若者の雇用と収入アップ、若手起業家の育成などをし、将来税収の確保に投資し、集中し、働いて楽しい、余暇を楽しめる石巻を政策誘導しなければ、若者の流出は止まらないし、少子化に歯止めがかからないと考える。

答 雇用や基盤整備などで対応したい。

・市職員の職場環境とこれからの方針について

問 少子化対策チームなど、縦割りの打破には意欲を感じるが、今後の課題解決でこういったチームによる対処は考えているか？ チームに入れば意欲が上がるし、若い力でなければ解決できない課題が山積している。

答 課題によって選択したい。

・教育環境の整備について

問 子どもが塾通い、学校帰りで遅い時間になる場合、駅前で時間を潰せるスペースがないという声がある。仙石線開通に合わせて、駅前に勉強スペースなどの整備を協働して行っってはどうか。

答 具体事例をあげての指摘なので、前向きに対応したい。



千葉 眞良 議員

・湊地区の復旧復興について

問 産業について。
答 石巻地方卸売市場の再建と合わせ、背後地の水産加工団地の復旧を進めるとともに、湊西地区の区画整理事業を展開し、水産加工関連業の集積を目指す。

問 住居並びに教育について。

答 区画整理事業を実施し、街並みを整備しながら住居の再建を推進するとともに、再建した小・中学校のほか、この4月からは、乳幼児から高齢者まで多世代交流を深めることのできる「みなと荘」に併設する湊こども園を開設し、住まいと合わせて保育、教育、そして交流ができる環境を整備する。

問 防災（交番・分団）について。

答 治安を守る交番の設置に向けて検討することで警察署と協議をしている。また第7分団の消防ポンプ置き場は被災した3つのポンプ場の復旧場所を決定していく。

問 介護（包括センター）について。

答 湊地域包括センターは震災により現在、大橋三丁目に仮事務所を設置しているが、湊地域内の設置が望ましいと考えることから、事業者と連携を図りながら早期移転の実現を目指す。

問 医療機関について。

答 湊地区は医療機関が減少していることから施設購入費の一部を補助する市独自の制度を活用しながら、区画整理の状況を県と医師会との調整を図りながら誘致に努めている。



水澤富士江 議員

・女川原発の現実離れした避難計画と市民の安全について

問 2月に「石巻市原子力災害広域避難計画」に伴う意見交換会があった。避難先27市町村からは、「複合災害や大規模災害を想定するならば、他自治体の方々の受入れは非常に難しい。」等の声があり、厳しいものだ。大変な矛盾と課題があるのではないか。

答 複合災害を踏まえ、避難経路や避難方法等多くの課題があるが、解決策を見出したい。

問 原子力規制庁はスピーディーを使わないという。被害のシミュレーションをしなければ、避難指示も出せない。民間版スピーディーの導入を。

答 検討する。

・震災後の学校の現状と課題について

問 就学援助の受給率42%、不登校は中学校で3.6%と高い。スクールソーシャルワーカー、35人学級の実現を。

答 必要性を感じ、検討する。

・市街地再開発について

問 「生鮮マーケット」の運営の責任の所在を明確にすべき。
答 管理運営会社を間もなく設立する。



渡辺 拓朗 議員

・被災者支援と地方創生

問 住宅再建支援制度（がけ地近接含む。）の補助金の振り込み時期は、建築確認後であるため住宅ローンの融資判断に有利に働いていない。借入額を少なくし融資判断に有利になるよう補助金を市が頭金として金融機関に入金又は申請者に概算払いする方策に改善すべき。

答 頭金として取り扱っていたのであれば申請者に有利である。金融機関と意見交換して目的を達成したい。

問 雄勝石を防波堤や建築復興事業の一部装飾に活用すべき。

答 防波堤への活用は施設管理者と協議する。また、街づくり計画の中で効果的に使用する方向で検討する。

問 市奨学金制度に返済減免支援をもつけるため軸となる産業を決めるなど定住促進に向け戦略的奨学金制度にすべき。

答 定住策として良い制度なのでしっかりと取り組みたい。

・健康維持

問 診療報酬明細書の活用して、効果的保健指導で医療費削減につなげては。

答 今年の夏までにデータヘルス計画として策定し医療費削減につなげたい。



楯石 光弘 議員

いにしえより瑞穂の国と褒め称えられてきた日本は、今どこへ向かおうとしているのか。毎日頂くご飯、茶碗一杯で20円以下、農家手取りは約10円、これでは到底生きてはいけない。

・地域の農業振興について

問 本市の農業の位置づけとその支援対策は。

答 農業は食料の生産のみならず国土保全等様々な役割を果たしており、本市としても重要な産業の一つと認識、連携して支援したい。

問 今年は国際土壌年。1cmの土ができるまで数百年、1gの土の中に数億の微生物が生きている。今こそ有機・米・麦・豆の製粉化等付加価値生産と米を主食とする和食の新たな消費拡大を図るべきでは。

答 農業は土づくりからの認識のもと堆肥利用による有機農業、地場産品の製粉化、集落営農組織の法人化を県、農協等連携し支援していきたい。早寝・早起き・朝ご飯を、運動として健康面からも積極的に推進する。

・本市の運動・スポーツ振興について

問 人生をより豊かにし充実したものとするスポーツは「人類共通の文化である」とするスポーツ基本法が五十年ぶりに改訂された。

答 子供の体力向上策と支援感謝、第一回復興マラソン大会の駐車場不足対応策について。

問 講習会等の開催で意識の高揚を図る。駅等送迎バスで対応するが、今後も検討したい。



後藤 兼位 議員

・固定資産税免除指定区域の現状と課題

問 被災した土地家屋の所有者が、代替土地又は家屋に係る固定資産税の特例は。

答 被災代替家屋・住宅用地を取得した場合、平成33年3月31日まで税額の軽減特例措置がある。（主張）被災者に正しい情報を伝え周知する工夫が必要だ。

問 防集移転団地の宅地借地料を減額する等、被災者の自立再建を促進する新たな施策を打ち出すべきだ。

答 新年度新たに独自策の拡大を図ろうとしているが自立再建を促すためには実効性、有効性がなければならぬ。被災者の自立再建を促すことが難しいのであれば、自立再建の誘導策の一つとして借地料の軽減策も今後研究検討する。

・石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)について

問 多くの市民が集う多目的広場・スポーツ施設等の整備を実行すべきだ。

答 市民の様々なニーズを受け止める場として、各種市民活動の中心となる多目的広場等の整備を考えている。

問 この計画で「伝承のための第一の視点場」として位置付けられている日和山の公園整備を急げ。避難場所として避難道路の整備を含め日和山の公園整備方針について検討する。

・仙石線石巻あゆみの駅整備と青葉西地区まちづくり

問 市主導の青葉西地区新駅整備と「将来まちづくり案」を描くべきだ。

答 南側についても駅を中心としたまちづくりを進めていく、先行して用地の確保公園化を進めるべきだと考え関係部局に指示している。



西條 正昭 議員

・生活安定と人口定住化のための働く場所の確保について

問 ある程度の所得があれば生活が安定し、人口の定住化にもつながることから働く場所の確保が急務である。「石巻工業港」「石巻魚市場」等をどの様に活用して行くのか、背後地の企業誘致と併せて伺う。また、一次産業の活性化対策についても伺う。

答 背後地「釜 大街道地区」は「製造業」「運送業」「倉庫業」等の集積を図って行く。「一次産業の活性化対策」は「6次産業化」を推進することにより、安定的な所得の創出と雇用の確保が図られるものと考えている。

・にぎわいの創設について伺う

問 ①全国規模のイベント開催について伺う。

答 ②全国豊かな海づくり大会を石巻市が名乗りをあげるべきと思うが伺う。

答 ③石巻魚市場を活用した日曜朝市について伺う。

答 震災以降、観光や物産、文化、スポーツ等様々な復興イベントが行われている。これからもイベントの実施や大会等の誘致に積極的に取り組んでいく。

・土砂くずれ等危険地域の整備について

問 石巻市の沿岸部はリアス式海岸特有の地形であり、土砂災害危険区域が多くある。生命と財産を守るためにも早急に整備すべきと思うが伺う。

答 牡鹿地区・県道石巻鮎川線は山側ヘルトを変更に復旧道路も計画されている。河北・北上地区は北上川の両岸堤が幹線道路として位置づけされている。国・県道を含めた代替機能を有する道路整備が必要と考え、現在検討をしている。雄勝地区は県道石巻・雄勝線を県が拡幅整備している。完成時には大型車の通行も容易となり、避難路として利用が向上する。



阿部 正敏 議員

問 自宅再建について思った以上に再建される方が少ないのではないかと。

答 利子補給の上限を300万円から444万円に、取得補助については、150万円から250万円に引き上げた。

問 自宅再建を目指す動機づけのためにも一律500万円程度にしては。

答 今制度を拡充したばかりなので状況を見ながら対応する。

問 住宅ローンの二重ローン問題についての説明が不足しているのではないかと。

答 5年間の利子補給上限50万円が県の制度で実施されている。二重債務問題に関する制度については各種相談の中で周知に努める。

問 女川町では独自に利子補給上限50万円を創設し、県と合わせて100万円が補助されているので石巻市での独自補助制度を創設しては。

答 検討する。

問 観光施設整備の復旧状況と新たな観光施設について。

答 全壊した施設の内、金華山休憩所については27年度中の着工、完成を予定、新たな観光施設については中心部の観光交流施設、雄勝、牡鹿の拠点整備、北上フィールドミュージアムと連動した物販施設整備を検討。

問 宿泊型交流人口策の取り組みについて。

答 教育旅行の推進やイベントの実施等関係者と協議する。

問 モニターツアー実施の取り組みについて。

答 国・県や観光協会と連携し震災以降学びのガイド、インバウンドを中心としたモニターツアーを実施、様々な意見をいただき教育旅行への展開や外国人旅行者への対応に生かしていく。

問 庁内に観光資源開発及びPR発信プロジェクトチームを創設しては。

答 食彩・感動・いしのまき観光推進協議会から意見をいただき必要に応じてプロジェクトチームを設置し検討する。



高橋 憲悦 議員

・亀山市長の失政の原因究明と山積する行政課題の取組について

問 ①合併から10年、市長就任から6年、大震災から4年が経過した。多くの市民が不安を感じている。市民と向き合い、心を通わせる市政を運営しなかつたことが原因では。

答 ②市長の言動には「責任」を伴うが、言動の「責任の重さ」をどのように認識しているか。

答 ③施策決定は、慎重審議を行わない独裁的な市政運営で、つまずきやエラーが発生。財源の枯渇化など大問題となる前に再点検を。

答 ④財政難、人口流出、少子高齢化、旧6町との地域格差、遍在する大型事業、市役所組織機能低下等への対応策について。

答 ⑤「大川小学校問題の取組」と「がれき処理不正請求事件の対応」について。

答 復興は、着実に進んでいるが、仮設住宅生活を余儀なくされ、不自由な生活で、大変な負担をかけている。直接市民と向き合い、心を通わせることが市政運営に重要だと考えている。また、市長として責任、その重さを常に意識して誠心誠意、市政運営を行う。大川小学校問題は、御遺族の意に寄り添い、一つ一つ取り組んでまいりたい。

石巻市議会「第17回議場コンサート」

市議会では、市民の皆様にも、議会活動への理解を深めていただくために、議場コンサートを開催いたします。

※当日は、午後1時から、第2回定例会本会議が行われる予定ですので、この機会に併せてぜひ傍聴してください。

問合せ先 議会事務局 (95-5080)

と き 6月8日(月)第2回定例会初日
午後0時20分～午後0時40分
ところ 石巻市議会議場(市役所6階)
出演者 瑞穂 あけみ(民謡歌手)
入場料 無料

市議会ホームページ

<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/d0100/index.html>
へアクセスしてください。

石巻市議会

検索

石巻市のホームページ内に開設しています。議会に関する様々な情報を掲載しています。

議会の日程や「いしのまき市議会だより」で取上げた内容等についても詳しくご覧いただくことができます。

定例会や各委員会の会議録も検索できます。



ぜひご覧ください!

市政を知るために 議会を傍聴してみませんか?

本市議会の様子は、議会開会中、どなたでも傍聴することができます。ぜひ、お気軽にお越しください。

車いすや団体での傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の開議時刻は、原則初日は午後1時、2日目以降は午前10時となっておりますが、議会運営上時刻が変更になる場合がございます。

ご不明な点等がございましたら、議会事務局へお問合せください。

石巻市議会豆知識



Q 政務活動費って何?

A 議員の調査研究活動に必要な経費の一部を助成するもので、石巻市では会派に対し、一人あたり月額3万円を交付しています。

交付を受けた会派代表者は、収支報告書に領収書等を添えて、議長に提出することとなっています。

議会録画映像の視聴

<http://www.gikai-city-ishinomaki.jp/>

東日本大震災で中断しておりましたが、定例会の一般質問や臨時会の緊急質問の様子の録画映像を公開しています。

視聴は、上記リンクよりご覧ください。



議会の動き

2月

- 6日 議会運営委員会
- 9日 高知県議会行政視察来石
岩手県陸前高田市議会行政視察来石
- 17日 産業建設委員会
- 18日 議会運営委員会
まちづくり促進特別委員会
- 20日 総合防災対策特別委員会
- 23日 市議会第1回定例会開会(～3月25日まで)
本会議(施政方針演説)
- 27日 議会運営委員会

3月

- 2日 本会議(施政方針に対する質疑)
- 3日 本会議(施政方針に対する質疑)
まちづくり促進特別委員会
- 4日 本会議(条例案等審議)
- 5日 本会議(当初予算案審議)
- 6日 本会議(追加議案審議)
- 9日 総務企画委員会
- 10日 環境教育委員会
- 11日 東日本大震災石巻市追悼式
- 12日 保健福祉委員会
- 13日 産業建設委員会
- 18日 議会運営委員会
広報広聴委員会

- 19日 本会議(一般質問)
産業建設委員会
- 20日 本会議(一般質問)
総務企画委員会
- 22日 環境教育委員会
保健福祉委員会
- 23日 本会議(一般質問)
- 24日 本会議(一般質問)
東日本大震災復興再生特別委員会
総務企画委員会
- 25日 本会議
(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)



4月

- 9日 東北市議会議長会定期総会
- 13日 宮城県議会と沿岸15市町議会議長との意見交換会
- 15日 東日本大震災復興再生特別委員会
- 22日 岩手県久慈市議会行政視察来石
- 23日 北海道湧別町議会行政視察来石
- 24日 宮城県議会スポーツ振興調査特別委員会
視察来石
保健福祉委員会
- 27日 まちづくり促進特別委員会

編集後記

いつも「議会だより」を最後まで読んでいただき、ありがとうございます。市民のみなさんに、正確でより身近な議会活動をお届けするために、紙面づくりには議員自らが携わっています。一般質問などは、各議員がそれぞれに工夫をして構成しています。

これからも議会から積極的に情報発信を行ない、それと並行してアンテナを高く掲げて市民の考え・意見を拾い上げ、それらが市政へ反映されるようにしっかりと発言していく所存です。

平成27年度一般会計予算も2,500億円を超える大規模なものになっています。国からの「東日本大震災復興交付金」や「震災復興特別交付税」などの支援によるものです。

我々議員は、復興に向けて前進する「石巻市」の姿を日本全国へ示し、感謝の意を表すためにも、気を引き締めてお金の使い道をチェックしなければいけません。市民からの負託に応え、声なき声をまちづくりに活かすためにも、自覚と責任を持って議会活動に取り組みます。

市民のみなさん、ともに笑顔がはじける石巻市をつくりましょう。

広報広聴委員 遠藤 宏昭

表紙から



2月26日、石巻市立北村保育所のぞう組(年長)が、おわかれ遠足で市役所を訪れました。

その中で、6階にある議場を見学し、議席に座り実際にマイクを使いいろいろな質問をしてくれました。

質問をする際に自分の姿がモニターに映し出されると、歓声を上げ大変よろこんでいる様子でした。

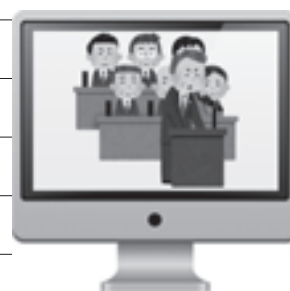
第2回定例会(6月8日開会予定)から インターネットで本会議や委員会の 映像がLIVE中継(生中継)で 視聴できます！



インターネット中継の視聴の仕方は、市議会
ホームページの
「LIVE中継(生中継)の視聴について」
をご覧ください。

第2回定例会のLIVE中継(生中継)の配信予定は次のとおりです。

日 程	時 間	内 容
6月 8日(月)	午後1時～	本会議(開会、提案理由説明)
6月 9日(火)	午前10時～	本会議(条例案、予算案等審議)
6月11日(木)	午前10時～(予定)	総務企画委員会
〃	午後1時30分～(予定)	環境教育委員会
6月12日(金)	午前10時～(予定)	保健福祉委員会
〃	午後1時30分～(予定)	産業建設委員会
6月18日(木)	午前10時～	本会議(一般質問)
6月19日(金)	午前10時～	本会議(一般質問)
6月22日(月)	午前10時～	本会議(一般質問)
6月23日(火)	午前10時～	本会議(一般質問)
6月24日(水)	午前10時～	本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)



また、平成26年第1回定例会からの一般質問等の録画中継も
配信しておりますので、どうぞご覧ください。

DATA 市総人口：149,248人【男：72,505人 / 女：76,743人 / 世帯数：59,952世帯(平成27年3月31日現在)】